令和7年第3回太良町議会
(定例会第3回)

一般質問通告書

太良町議会

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
8. 18	1	待永るい子	1. 道の駅たらについて 現在全国の道の駅は1,230か所あるが、生き残りをかけた熾烈な戦いが行われているという。そこで、道の駅たらについて問う。 (1) 道の駅たらの目的はどうだったか。 (2) 過去3年の来客数と売り上げについて、どのようになっているか。 (3) 今後の課題と対策について、どのように考えているか。	町 長
			2. 教育の補助事業について 太良町では子育て支援に重点を置いた施策が行われているが、今回は高校生と中学生の教育補助事業について問う。 (1) 高校生に対する補助事業の経緯と内容について、どのようになっているか。 (2) 中学生に対する補助事業の内容について、どのようになっているか。	教育長
			3. 障害者対策について 障害者が安心して1日でも長く自宅生活を送ることができるように、以下のとおり障害者対策について問う。 (1) 町内で障害者手帳を持っている人はどれくらいか。 (2) 障害者に対する施策の内容はどうなっているか。 (3) 施設入所と自宅生活者の割合はどれくらいか。	町 長
8. 18	2	山口 一生	1. 高齢者の居場所づくりと集会所の活用について 本町において高齢化が進む中、高齢者が安心して集い、交流できる場の確保がますます重要になっている。 現在、各地区で高齢者サロンや地域活動が行われているが、活動内容や頻度にはばらつきがあり、継続性や参加率に課題があるものの、今後ますます地域住民の多種多様な生活スタイルやニーズに対応するために考慮すべき点がある。 また、夏場の暑さや移動の制約もあり、地域の集会所などの公共施設をどのように活用するかが全国的にも見直されてきている。そこで以下について問う。 (1) 各地区で実施されている老人会、高齢者サロンや地域活動の実態と、その継続性や課題について町としてどう把握しているか。 (2) 町として高齢者の居場所づくりにどのような支援を行ってきたか。また、その効果をどう評価し、今後どのような支援が必要と考えているか。 (3) 集会所など地域の拠点を、高齢者が安全に利用できる形で開放・活用する可能性についてどのように考えているか。特に、夏場の暑さ対策や移動制約への対応を含め、町の方針を伺いたい。	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
8. 19	3	大鋸 美里	<p>1. 地域共生を育む学校教育の在り方について</p> <p>情報化社会の中、AI やメタバース、仮想空間などの技術の進化により今後私たちの暮らし方や働き方がさらに変わっていくことが予測される。そこで、学校教育の現状と今後の方向性について問う。</p> <p>(1) 国は 2050 年には AI・アバター・遠隔操作などを活用し身体空間や時間の制限を超える未来社会を目指している。これからの社会変化に太良町の教育はどう対応していくのか。</p> <p>(2) 地域の課題や文化を“学び”に繋げていく取り組みはどのようなものがあるのか。</p> <p>(3) 子どもたちが町のことを考え、声を届けられるようなしくみはあるのか。</p> <p>(4) 子どもを育てるために大人も一緒に学び感じあう取り組み等はあるのか。</p> <p>(5) 地域おこし協力隊の意義と今後の活用についてどのように考えているのか。</p>	教育長
8. 21	4	峰 正雄	<p>1. 異常気象による農畜産物の被害について</p> <p>近年、地球温暖化による異常気象等で農林水産業に被害が出ている。本町の基幹産業であるみかん、ぶどう、アスパラガス、花き類、イチゴ、なす、キウイなどにも高温障害等が出ている現状である。そこで、以下について問う。</p> <p>(1) 果樹、野菜、花きで現在どのような被害が出ているか。</p> <p>(2) 畜産業では現在どのような被害が出ているか。</p> <p>(3) 農家の方はさまざまな暑熱対策をされているが、これに町として助成はできないか。</p>	町 長
			<p>2. 熱中症対策について</p> <p>今年の夏は猛暑で日中の温度も 40℃近くになっており、熱中症で救急搬送される人があとを絶たないと聞く。本町も例外ではなく、晴天も多く、例年よりも気温が高い状況である。そこで、以下について問う。</p> <p>(1) 町内の高齢者のみで生活する世帯はどれくらいあるか。</p> <p>(2) 高齢者のみの世帯へのエアコン購入等の助成はできないか。</p>	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
8. 22	5	森田 政則	<p>1. 有明海の環境保全と「ネイチャーポジティブ宣言」について</p> <p>太良町の暮らしと産業を支えてきた有明海は、町の大切な宝である。</p> <p>太良町は「月の引力が見える町」というキャッチフレーズのもと、自然と共に歩んできた。この町が持つ干潟や竹崎カニなどの恵みを、次の世代に残すためにも、町としての方向性を示す時期ではないか。そこで以下について問う。</p> <p>(1) 有明海の環境変化が町の将来に与える影響について、町としてどのように認識しているか。</p> <p>(2) 唐津市の「ネイチャーポジティブ宣言」に見られるように、町としての自然資源を守り、活かす方向性を示す必要性についてどう考えるか。</p> <p>(3) 太良町が持つ独自の自然資源（干潟、竹崎カニ、潮干狩り等）を次世代に継承するために、「ネイチャーポジティブ宣言」を打ち出す考えはあるか。</p>	町 長
8. 22	6	田川 浩	<p>1. 地域公共交通について</p> <p>本町には、路線バス、鉄道、タクシー、コミュニティバスの地域公共交通が存在する。全国的に人口減少・少子高齢化による利用者の減少、担い手不足からの路線維持困難などが指摘される中、本町では西九州新幹線開業に伴う並行在来線問題も抱えている。そこで、これからの地域公共交通について問う。</p> <p>(1) 現在、本町の地域公共交通における課題は何か。</p> <p>(2) その課題に対して、どのような対応がされているか。</p>	町 長
			<p>2. 戸籍法改正について</p> <p>戸籍法が改正され、戸籍の記載事項に氏名の振り仮名が記載されることになった。現在、「戸籍に記載される振り仮名の通知書」が配布され、その作業が行われている。そこで、その事業について問う。</p> <p>(1) 具体的なタイムスケジュールはどうなっているか。</p> <p>(2) 作業を進めていく上での課題としてどのようなものがあるか。</p>	町 長